

補助金評価シート

区分	重点・ 重点以外	補助根拠	法令補助・ その他補助	開始時期	平成26年4月1日	終期	平成29年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]		新潟市衛生害虫駆除用薬剤購入費補助金					
		自治会、町内会及びコミュニティ協議会（以下自治会等という。）が衛生害虫駆除用薬剤を購入した場合、それぞれの薬剤の補助基準額と自治会購入額を比較して、いずれかの少ない方の額の2分の1を補助する。					
款・項・目		(款) 衛生費 (項) 保健衛生費 (目) 保健予防費					
所属等		保健衛生部 保健所環境衛生課		生活環境係		電話 025-212-8269	

年 度		26年度（1年目）	27年度（2年目）	28年度（3年目）
予算額等の推移	予算(千円)	7,256	7,000	7,000
	決算(千円)	6,647	6,415	6,510（見込み）
補 助 率		1/2	1/2	1/2
目 標		自治会等による蚊・ハエ等の衛生害虫駆除活動を支援し、地域における生活環境の維持及び向上を図る。 <目標が数値でない場合の評価方法> 衛生害虫の発生状況調査		
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上			
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	市内に蚊の捕獲器を設置し、定期的に生息状況調査を調査している。また、デング熱等の再興（再来）感染症の発生未然防止を図る。 定点捕集（31週） 2,310頭（♀）	市内に蚊の捕獲器を設置し、定期的に生息状況調査を調査している。また、デング熱等の再興（再来）感染症の発生未然防止を図る。 定点捕集（12週） 286頭（♀）	市内に蚊の捕獲器を設置し、定期的に生息状況調査を調査している。また、デング熱等の再興（再来）感染症の発生未然防止を図る。 定点捕集（7週 7月末現在） 131頭（♀）
補助事業者による情報の公表		各自治会等の決算報告、会報		

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	○	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	×	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 薬剤散布の範囲が狭隘である場合には、補助金額が5万円を下回る場合がある。今後とも薬剤を適切に使用するよう自治会等指導したい。 <g～hにおける取組> 感染症に対する知識・対応能力・薬剤散布等の実践活動を継続して周知徹底することに主眼を置いた補助事業であることから、数値化することに適していない。			
	目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
		① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止			
		①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 良好な生活環境を求める住民ニーズは依然として高く、当該事業は、自治会等による自主的な活動の支援及び地域の実情に適した衛生害虫の防除・感染症未然防止に役立っている。なお、本市は現在、環境負荷の少ない昆虫成長制御剤（粒剤、発泡錠）の使用を推奨している。			